

Microsoft Office Excel 2013 Manual

ピボットテーブルの使い方(2)

[例題2]ピボットテーブルを使ってみましょう！

【学部ごとに男女の人数を集計する】

※注意 ピボットテーブルのフィールドリストボックスは、ドラッグして動かすことができます。

表示されていない場合はピボットテーブルを一度クリックしてください。

下の図は[例題1]で作成したピボットテーブルのデータです。

ピボットテーブル2

レポートを作成するには、[ピボットテーブルのフィールド リスト]からフィールドを選択してください

ピボットテーブルのフィールド

レポートに追加するフィールドを選択してください:

- 学部
- 学年
- 性別
- 身長
- 体重
- BMI値
- BMIからみる標準体重
- あなたの理想体重

その他のテーブル...

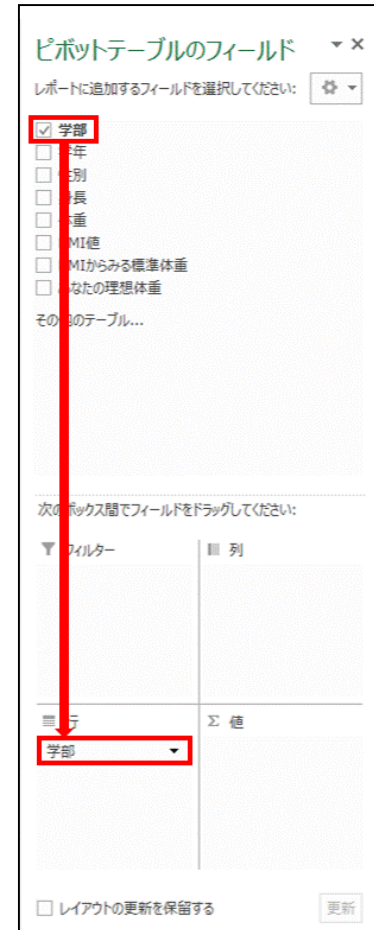
次のボックス間でフィールドをドラッグしてください:

▼ フィルター	≡ 列
≡ 行	Σ 値

レイアウトの更新を保留する 更新

1.ピボットテーブルのフィールドリストボックスにある学部のデータを行ラベルにドラッグ & ドロップします。

(ドラッグ&ドロップとは、マウスのボタンを押しそのままの状態でもうすを移動(ドラッグ)し、別の場所でもうすのボタンを離す(ドロップ)動作のことです。)



2.ピボットテーブルのフィールドリストボックスにある性別のデータを列ラベルにドラッグ & ドロップします。

The screenshot shows the 'ピボットテーブルのフィールド' (PivotTable Fields) task pane. At the top, there is a title bar with a close button. Below it, a search icon and a dropdown arrow are present. The main area contains a list of fields with checkboxes: '学部' (checked), '学年' (unchecked), '性別' (checked and highlighted with a red box), '身長' (unchecked), '体重' (unchecked), 'BMI値' (unchecked), 'BMIからみる標準体重' (unchecked), and 'あなたの理想体重' (unchecked). Below this list is the text 'その他のテーブル...'. A red arrow points from the '性別' field to the '性別' dropdown in the '列' (Columns) section of the layout grid. The layout grid has four sections: 'フィルター' (Filters), '列' (Columns), '行' (Rows), and 'Σ 値' (Values). The '行' section currently contains '学部'. At the bottom, there is a checkbox for 'レイアウトの更新を保留する' (Save layout changes) and a '更新' (Refresh) button.

3.ピボットテーブルのフィールドリストボックスにある性別のデータを値にドラッグ&ドロップします。

ピボットテーブルのフィールド

レポートに追加するフィールドを選択してください:

- 学部
- 学年
- 性別
- 身長
- 体重
- BMI値
- BMIからみる標準体重
- あなたの理想体重

その他のテーブル...

次のボックス間でフィールドをドラッグしてください:

フィルター	列
	性別

行	Σ 値
学部	データの個数 / 性別

レイアウトの更新を保留する 更新

4.これで、下図のようなピボットテーブルの表が完成しました。

	A	B	C	D
1				
2				
3	データの個数 / 性別	列ラベル		
4	行ラベル	女	男	総計
5	その他	3	8	11
6	国際文化学部	16	7	23
7	社会学部	20	12	32
8	理工学部	7	17	24
9	総計	46	44	90
10				
11				

【フィールドの内容を替えて、データの内容を切り替える】

1. 行ラベルの学部をクリックし、フィールドの削除を選択することで、行ラベルの内容を消すことができます。

ピボットテーブルのフィールド

レポートに追加するフィールドを選択してください:

- 学部
- 学年
- 性別
- 身長
- 体重
- BMI値
- BMIからみる標準体重
- あなたの理想体重

その他のテーブル...

上へ移動(U)

下へ移動(D)

先頭へ移動(G)

末尾へ移動(E)

▼ レポートフィルターに移動

■ 行ラベルに移動

■ 列ラベルに移動

Σ 値に移動

X フィールドの削除

⚙️ フィールドの設定(N)...

学部 ▼ データの個数 / 性別 ▼

レイアウトの更新を保留する

更新

2.新たにピボットテーブルのフィールド
リストボックスにある学年のデータを行
ラベルにドラッグ&ドロップします。

ピボットテーブルのフィールド

レポートに追加するフィールドを選択してください:

- 学部
- 学年
- 性別
- 身長
- 体重
- BMI値
- BMIからみる標準体重
- あなたの理想体重

その他のテーブル...

次のボックス間でフィールドをドラッグしてください:

フィルター	列
	性別

行	Σ 値
学年	データの個数 / 性別

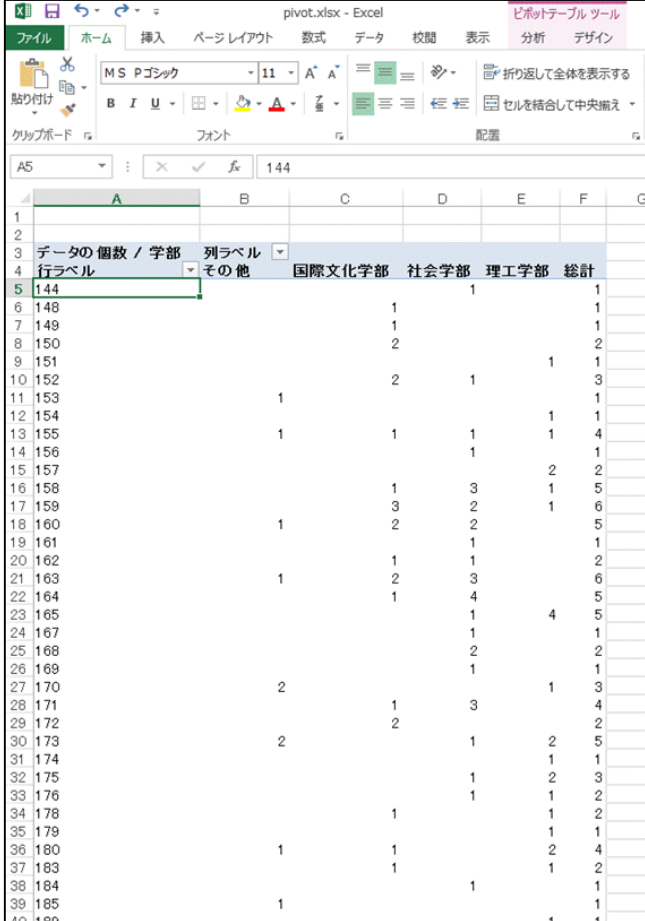
レイアウトの更新を保留する 更新

3.切り替えが完了しました。

A	B	C	D	
データの個数 / 性別	列ラベル ▼			
行ラベル ▼	女	男	総計	
1回生	3	6	9	
2回生	2	10	12	
3回生	20	11	31	
4回生	16	4	20	
その他	5	13	18	
総計	46	44	90	

【フィールドデータのグループ化】

右図のように行ラベルに身長、列ラベルに学部、値に学部を入力した集計結果があります。
このままだと身長の項目が多くて見にくい
です。そこで身長を1cm単位幅から10cm
単位幅にして見やすくしましょう。



The screenshot shows an Excel PivotTable with the following structure:

データの個数 / 学部	列ラベル	国際文化学部	社会学部	理工学部	総計
144	その他				1
148		1			1
149		1			1
150		2			2
151				1	1
152		2	1		3
153		1			1
154				1	1
155		1	1	1	4
156			1		1
157				2	2
158		1	3	1	5
159		3	2	1	6
160		1	2	2	5
161			1	1	2
162		1	1		2
163		1	2	3	6
164		1	1	4	5
165			1	4	5
167			1	1	2
168			2		2
169			1	1	2
170		2		1	3
171			2	3	4
172			2		2
173		2		1	5
174				1	1
175			1	2	3
176			1	1	2
178		1		1	2
179				1	1
180		1	1	2	4
183			1	1	2
184			1		1
185		1			1
189				1	1

1. 行ラベルのいずれかのセルを選択して、ピボットテーブルツール→分析タブ→グループグループのグループの選択をクリックします。

ピボットテーブル ツール

分析

アクティブなフィールド: 身長

グループの選択

グループ解除

フィールドのグループ化

スライサー

タイムラインの挿入

フィルター

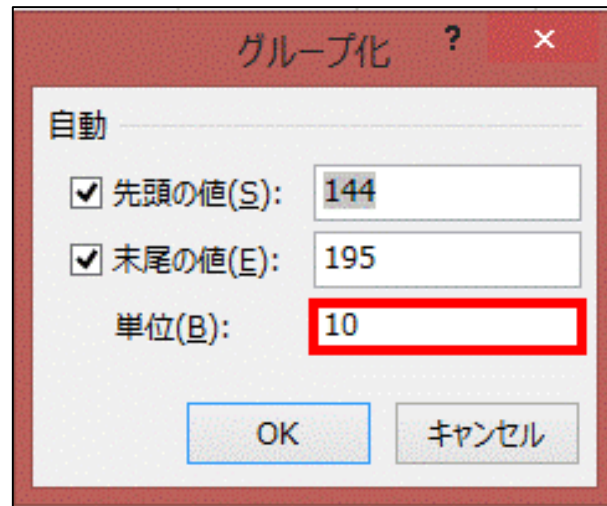
更新

データ

A5 : 144

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2							
3	データの個数 / 学部	列ラベル					
4	行ラベル	その他	国際文化学部	社会学部	理工学部	総計	
5	144			1		1	
6	148		1			1	
7	149		1			1	
8	150		2			2	

2.グループ化ボックスが開くので、自動の単位を10に変更して、OKをクリックします。



3.身長の単位が10cmごとにグループ化されました。

The screenshot shows the Excel interface with the PivotTable Tools ribbon active. The PivotTable is set to show data by department (学部) and total count (総計). The height data is grouped into 10cm intervals.

データの個数 / 学部	列ラベル	国際文化学部	社会学部	理工学部	総計
身長	その他				
144-153		1	6	2	10
154-163		3	10	14	33
164-173		4	4	13	28
174-183		1	3	2	15
184-193		1		1	3
194-203		1			1
総計		11	23	32	90

※この他にも体重、BMI値の男女・学部・学年による傾向などピボットテーブルを利用することで、さまざまな傾向がつかみやすくなり、そこからさまざまな分析を行うことも可能になります。



